

## 事業概要シート

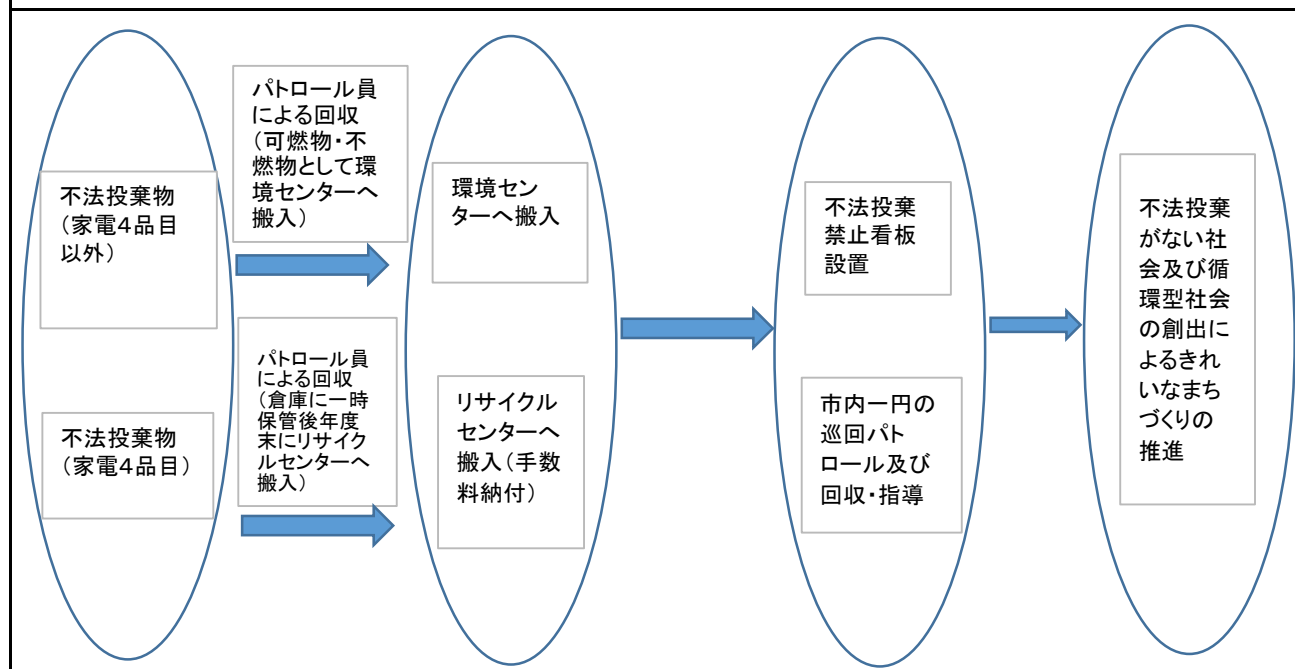
施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	不法投棄対策事業	現状維持	予算額 4,782 千円 << 4,208 >>千円
事業期間	～		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 4,782 千円
根拠法令要綱等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・大村市環境美化条例 ・大村市環境美化条例施行規則		

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】** 不法投棄者の抑制・撲滅を図るとともに、不法投棄がない社会及び循環型社会を創出するための啓発を行う。

**【概要】** 建築廃材等の処理規制が厳しくなったことや家電製品4品目（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）の廃棄処理の有料化以降、平成21年度から新たに家電製品2品目（衣類乾燥機、液晶・プラズマテレビ）が追加され、不法投棄が後を絶たない状況であり、市内一円の巡回・パトロール、指導、摘発を実施する。また、不法投棄禁止看板等の設置を行う。

**【対象】** 市内全域



**【背景】**

パトロール員による市内一円の巡回・パトロール、不法投棄禁止看板の設置、保健所との合同パトロール等を継続的に行っているが、不法投棄は減収しない状況であり、今後も継続的に不法投棄防止対策の実施、啓発活動を行っていく必要がある。

担当課	市民環境部環境保全課	課長	白石 勝己
担当者	林田 雅孝	問合せ先	0957-53-4111 (内線143)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	不法投棄パトロール回数	回	394	486	486	486	486
②							

### 【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	不法投棄家電4品目回収件数	件	20	—	—	—	—
②	不法投棄物回収量	K g	5963	3650	3610	3570	3510

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	4,352	3,884	4,208	4,782	4,782	4,782	26,790
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	4,352	3,884	4,208	4,782	4,782	4,782	26,790
人件費	5,458	5,454	5,462	5,462	5,462	5,462	32,760
職員(人)	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	4.50人
時間外勤務(h)	2h	2h	4h	4h	4h	4h	20h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	9,810	9,338	9,670	10,244	10,244	10,244	59,550

妥当性 (市の関与)	不法投棄の撲滅には、関係機関（警察署、県央保健所）、環境美化推進員、町内会長等との連携は不可欠であり、市が深く関与する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	不法投棄対策事業の実施は、廃棄物処理の推進や環境美化の推進につながっている。
効率性 (コスト)	パトロールによる巡回監視等に対し、最低限の人員配置で対応しており、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり